

第12回災害対策本部会議における知事コメント

本日も、厳しい暑さが続く中、被災者支援や復旧活動に取り組んでいただいた関係機関の皆様に、心から感謝申し上げます。

先月28日の地震発生以降、人命救助、ライフラインの復旧、給水支援、支援物資の輸送、入浴支援など、皆様の懸命な活動により、被災地の状況は少しずつではありますが、改善していると考えています。

八代市や宇城市での入浴支援も始まっておりますが、断水が続いている氷川町（ひかわちょう）でも、能登半島地震で活躍し、本県とも災害時の支援協定を結んでおりますWOTA社の循環型シャワーキット6基が設置され、本日16時から、氷川中学校で運用が始まりました。迅速な運搬にご協力いただきました航空自衛隊の皆様には感謝を申し上げます。

ただ、被災された方々の中には、先の見えない不安を抱えておられる方も少なくありません。今後は、避難生活の環境改善だけでなく、心のケアについても強化し、お一人お一人に寄り添った支援を進めていきたいと考えています。

本日、私も陸上自衛隊のヘリに搭乗させていただきまして、上空から被災の状況をこの目で確認いたしました。ブルーシートがかかった家屋が数多くある一方、手付かずの状態で倒壊している家屋など、改めて、甚大な被害であることを痛感しました。

さて、本日の会議では、2つの新しい方向性を被災された皆様にお示しすることができました。

1つ目は、被災された方々の避難生活の改善に向け、「ホテル避難」をスタートさせます。

明日3日（月）から受付を開始し、準備ができ次第、専用コールセンターを開設予定です。

対象となる地域は、宇土市、宇城市、八代市、氷川町で、県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携して実施して参ります。

なお、配慮が必要な宇土市の1世帯については、先行してホテル避難を開始しており、今後、さらにマッチングを進め、受け入れの手続きを進めて参りたいと考えています。

2つ目は、建設型応急住宅の整備についてです。本日、宇城市、氷川町で、最初の応急仮設住宅の建設工事が始まることが決定しました。明日の午後から工事が始まります。ご自宅を失い、避難生活を余儀なくされている方々が一日も早く安心して暮らせるよう、スピード感をもって取り組んで参ります。

また、先ほど土木部からの報告にもありましたが、大きな被害を受けた「八代港」の国による管理代行について、本日、正式に国土交通省に要請させていただきました。「復興の拠点」となる八代港の一日も早い機能回復に向けて、国と連携して、県もしっかりと対応して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、明日から6日木曜日にかけて、最高気温が35度以上の猛暑日となり、特に明日3日は最高気温が40度の酷暑日となることが見込まれています。夜間も熱帯夜が続き、30度近くになることも予想されますので、夜間の熱中症対策にも気を配っていただければと思います。

令和8年（2026年）8月2日16時00分
防災推進課

明日以降も、やるべきことに全力で取り組んでいきましょう。よろしくお願いします。